

学校教育目標

自立する生徒

～イメージ豊かに創造しよう～

- ・意欲を持って学習する人
- ・正義を重んじる人
- ・共に生きる人

城山中だより

No. 28

令和8年10月9日
綾瀬市立城山中学校
校長 熊本 丈力

10月朝会 校長 挨拶より

究極の幸せとは



今日はまず先月の合唱祭についてお話しします。初めて参加する1年生は1年生らしい、2年生は昨年の経験を活かしレベルアップした合唱を、最上級生である3年生は各パートのバランスの取れた、どのクラスも大きな差もないすばらしい歌声でした。各クラスの指揮者、伴奏者、また練習をリードしてくれたパートリーダー、当日までの準備や運営にがんばった合唱祭実行委員のみなさんご苦労様でした。今回の合唱祭当日の進行がうまくいったのも、みんなが気持ちよくステージ上で歌えたのも、実行委員の人が合唱祭前に何度も委員会を開き、当日朝も早くから準備をしてくれたからこそ、時間通りに始められ時間通りに終了することができたのです。指揮者や伴奏者の人も何度も自宅で練習をして臨んだことでしょう。

話は変わりますが、皆さんは幸せな気持ちとはどういうことだと思いますか。私は、以前、県内のある会社の会長さんから「人間の究極（本当）の幸せ」について話を聞きました。その会長さんは、「人間の究極の幸せ」は4つあると言っており、1つ目は「人に愛されること」 2つ目は「人にほめられること」 3つ目は「人のために役立つこと」 4つ目は「人に必要とされていること」と話していました。逆にいえば人が「人に愛されない・人にほめられたことがない・人の役に立たない・人に必要とされない」としたら、その人は不幸な人といえるのではないのでしょうか。注目したいのはこの3つ目の「人のために役立つこと」です。最初に合唱祭について、実行委員など係の人への感謝について話をしましたが、1つの行事を実施する時、学校全体、学年、クラスの生徒が滞りなくスムーズに動くためには、計画や準備、運営の補助など裏方の仕事などが必要です。考えてみれば、毎日のクラスの係や委員会活動も当たり前のようにそれぞれが仕事をしているのですが、もし係が忘れてしまったら困るのは自分たちではありませんか。自分のことだけでなく、人の為に動くこと、役立つこと、このことがみんなのために役に立つ、みんなが楽しく過ごせるクラスや学校になるでしょう。係の生徒がやることは自分のためだけでなく、本校の他の生徒のために役立つ仕事。これが人のために役立つこと、幸せにつながる行為なのです。

皆さん、ぜひこれからも自ら進んで人の役に立つことをしてみましょう。係や委員会としての仕事はもちろんですが、係でなくても教室や廊下に落ちているゴミを拾う、消し忘れた黒板を消す、困っている人を助けるなどどんな小さなことでもかまいません。みんなが楽しく過ごせる城山中にするために「人のために役立つこと」を考え、実行してみてください。その行動を続けていけば、いつの日か究極の幸せを感じることができると思います。

10月は1年間の学校生活の折り返し地点。これから後期になり委員会や係の仕事が変わる人もいるかもしれませんが、ぜひ「人のために役立つこと」を考え、実行してみましょう。今月24日に行われる体育祭でもそれぞれが行うさまざまな役割としての仕事も期待しています。

【お知らせ】 7月より療養休暇をとっている井関 薫教諭（2学年英語担当）につきましては、10月も引き続き休暇が延長されていますことをお知らせします。